

JIS

UDC 620.168.32

Z 8815

ふるい分け試験方法通則

JIS Z 8815⁻¹⁹⁹⁴

(2005 確認)

平成 6 年 12 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 63.3.1 改正：平成 6.12.1

官報公示：平成 6.12.5

原案作成協力者：社団法人 日本粉体工業技術協会

審議部会：日本工業標準調査会 基本部会（部会長 栗田 良春）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部管理システム規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ふるい分け試験方法通則

Z 8815-1994

Test sieving—General requirements

1. 適用範囲 この規格は、粒子状及び粉体状物質の粒径分布を測定するために行うふるい分け試験方法の一般的原則について規定する。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8801 試験用ふるい

2. この規格の対応国際規格を次に示す。

ISO 2591-1 : 1988 Test sieving—Part 1 : Methods using test sieves of woven wire cloth and perforated metal plate

2. 一般事項

2.1 用語の定義 この規格で用いる用語の定義は、次のとおりとする。

- (1) 縮分 一つの試料を、化学的及び物理的特性が同じである幾つかの小さな試料に分けること。
- (2) 分割 化学的又は物理的特性に留意することなく、一つの試料を幾つかの試料に分けること。
- (3) 試料 ふるい分け試験を行うために採取した物質。
- (4) 試験試料 実際にふるい分け試験に供する試料の一部又は全部。
- (5) 装入試料 1回のふるい分け操作で処理する試験試料の一部又は全部。
- (6) かさ体積 粒子群集合体の体積。
- (7) 乾式ふるい分け 気体中で行うふるい分け。
- (8) 湿式ふるい分け 液体を分散媒体として用いるふるい分け。
- (9) 手動ふるい分け ふるいを手で振動させながら行うふるい分け。
- (10) 機械ふるい分け ふるい分け装置を用いるふるい分け。
- (11) ふるい上 ふるい分け終了後に、ふるい網上に残留した試験試料
- (12) ふるい下 ふるい分け終了までに、ふるい網を通過した試験試料

2.2 数値の丸め方 測定値の丸め方は、JIS Z 8401による。

3. ふるい分け試験方法の種類

3.1 乾式ふるい分け 乾式ふるい分けは、次の2種類とする。

- (1) 手動ふるい分け
- (2) 機械ふるい分け

3.2 湿式ふるい分け 湿式ふるい分けは、次の2種類とする。

- (1) 手動ふるい分け
- (2) 機械ふるい分け

4. ふるい分け試験方法の選定基準